

公益財団法人まちみらい千代田
第3期 第2回 評議員会 議事録

1 日 時

平成27年12月18日（金） 午前10時～午前11時30分

2 場 所

ちよだプラットフォームスクウェア 4階402会議室

3 評議員現在数

11名

4 出席者

(1) 評議員出席者（9名）

野本俊輔、鎌倉勤、熊谷エイ、澤崎宏、瀬川昌輝、
谷真理子、高橋陽子、山口修一、米倉伸三

（欠席者（2名）鈴木潔、志摩雅子）

(2) 事務局

理事長：山崎芳明、副理事長（事務局長）：鈴木秀人
各グループマネージャー（以下GMという。）
本郷友孝、加藤英明、金子辰夫、伊澤優

5 議 題

公益財団法人まちみらい千代田 第3期 事業実施状況 中間報告 について

6 開会、挨拶、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、事務局が配付資料の確認を行った。定款第25条により評議員会の議長を務める野本会長が開会を宣言し、山崎理事長に挨拶を求めた。

出席者について事務局から報告し、定款第26条の規定に定める定足数を満たしていることを確認し、本評議員会が有効に成立している旨を告げた。

次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第30条第2項の規定により、本日出席の鎌倉評議員と山口評議員の2名を提案したところ、満場一致の賛成があり、議長が両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。その後、議事に入った。

7 議事の経過及び結果

(議題) 公益財団法人まちみらい千代田 第3期事業実施状況中間報告について
資料「第3期事業実施状況中間報告」に基づき、各GMが中間報告を行った。

- | | |
|-----------------|------|
| (1) 住宅まちづくりグループ | 金子GM |
| (2) 産業まちづくりグループ | 加藤GM |
| (3) まちづくり推進担当 | 伊澤GM |
| (4) 企画総務グループ | 本郷GM |

質疑・意見等

[評議員]

防災ブック「東京防災」は良く出来ている。マンションによっては配付されていない場合がある。

[まちみらい千代田]

発行は、東京都総務局総合防災部が行っている。マンションによってはセキュリティ等のため、郵便配達出来ない場合もあるので、まちみらい千代田に連絡していただければ、管理会社を通して配付するように手配する。

[評議員]

借上型区民住宅の建物所有者全員から、まちみらい千代田を被告として、借上期間満了日限り、全建物を明け渡すことを求め提訴されているとのことだが、今後どのように対応していくのか？

[まちみらい千代田]

借上型区民住宅には、「区単独型住宅」（区の補助を受けて建設された民間賃貸住宅）と「特優賃型住宅」（特定優良賃貸住宅制度を活用して、国・都・区の補助を受けて建設された民間賃貸住宅）の2種類がある。これまで区は、各建物所有者に対して建設費用借入金の利子補給や空室賃料の補填等、手厚い支援をしてきた。訴訟については、千代田区と連携しながら適切に対応していく。

なお、区では入居者が居住継続できるよう、10年間は賃料の「激変緩和措置」を講じることとしており、入居者はもとより、土地所有者への間接的な支援となる。

[評議員]

事業の進捗率は全体的に低いですが、職員の「頑張り」は評価したい。「千代田まちづくりサポート」は、多くのアイデアが生まれる良い事業なので手厚く支援し、まちづくりのムードを醸成して欲しい。

[まちみらい千代田]

新規事業も多く、計画通りに進捗していない面もあるが、地道に取り組んでいる。例えば、「マンション防災計画等策定支援」については、まちみらい千代田職員とマンション管理士がチームを組んで、区内の分譲マンション全432棟を対象として個別訪問した。「千代田まちづくりサポート」については3月初旬に活動成果発表会を開催するが、PRの強化に努めたい。

[評議員]

「マネージメント・サポートデスク」や「ビジネス法律相談」等、良い事業が多いが、知名度アップのため、広報の方法を検討する必要がある。千代田区商工団体連携強化連絡協議会などの機会があるごとに事業の周知を図って欲しい。

また、まちみらい千代田公式ホームページのスマートフォン対応はどうなっているか？

[まちみらい千代田]

「まちみらい千代田ホームページ」と「千代田デイズ」の統合を行い、ユーザー本位で使いやすいホームページへと改善を図った。またホームページのスマートフォン等「マルチデバイス」対応にも着手し、トップページの改修を行ったところである。今後ユーザーの声を踏まえ、さらなる改善を進めて行く。

[評議員]

「千代田まちづくりサポート」助成金に比べて、区が実施している「地域コミュニティ活性化事業」は助成金額が多い。事業のコラボレーションを検討してはどうか？

[まちみらい千代田]

「千代田まちづくりサポート」助成金は、税金ではなく、まちみらい千代田の賛助会費でその大部分をまかなっている。今後、新たな財源として、民間都市開発推進機構（民都機構）の「住民参加型まちづくりファンド」の資金活用を検討中である。

[評議員]

まちみらい千代田は、多種多様な事業を実施している。よりきめ細かく活動するために「クラウドファンディング」の活用や事業への区民・学生等のボランティア参加を検討してみてもどうか？

また、「千代田まちづくりサポート」は、助成申請金額と助成決定金額の差が大きくて違和感がある。

[まちみらい千代田]

市民との協働では、「千代田まちづくりサポート」中間報告会の運営で、区民や学生等で構成されている「サポーターズクラブ」の協力を得たり、冊子「マンション生活の手引き」の作成では、マンション管理組合の理事長に参加いただいている「マンション連絡会」のご意見をいただくなどしている。

「千代田まちづくりサポート」の助成金については、助成金総額が少ない中、審査委員がそれぞれの活動内容を十分確認した上で決定しており、メリハリのある結果となっている。なお、新しいグループが参加しやすいように「はじめて部門」を設けたり、今後の活動に期待を込めてグループ同士のコラボレーションを図るなどの工夫も行われている。

8 事務連絡

評議員会の次回以後の開催日程を調整し、その結果、以下の通り内定した。

- ・第3期 第3回 評議員会 平成28年5月24日（火）10：00～
（第4期 事業計画及び予算）
- ・第4期 第1回 評議員会 平成28年8月26日（金）16：00～
（第3期 事業報告及び決算）

9 閉 会

以上をもってすべての審議を終了したので、午前11時30分、閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長及び評議員がこれに署名、押印する。

平成27年12月18日

公益財団法人まちみらい千代田
第3期第2回 評議員会

議 長 野 本 俊 輔 (印)

議事録署名人 鎌 倉 勤 (印)

議事録署名人 山 口 修 一 (印)